

平成27年度
学校訪問活動報告書

平成28年3月31日

全国内航タンカー海運組合
船員対策委員会

— 目 次 —

I. 平成27年度の学校訪問活動を終えて	…	1
II. 海技教育機構との懇談会議事概要	…	2～5
III. 平成27年度・学校訪問一覧表	…	6
IV. 学校訪問における主な意見交換内容（抜粋）	…	7
V. 学校別訪問結果概要	…	8～19
VI. 水産高校生の求職希望に対する情報提供	…	20
平成27年度・船員対策委員会委員名簿	…	21

I. 平成27年度の学校訪問活動を終えて

船員対策委員会(本年度より旧タスクフォースから委員会に変更)では、当組合の中期運営指針及び平成27年度事業計画において、船員の高齢化・不足化等の状況に鑑み、若年船員の確保・育成を重要施策に位置付けていることから、本年度も次の目的で学校訪問活動を実施いたしました。

- (1) 船員の高齢化、若年船員の不足状況から、学校との良好な関係づくりの継続。
- (2) 学校側に、業界の現状、求人傾向の説明、及び生徒の求職希望等について情報交換。
- (3) 毎年変わる生徒に対し、内航タンカーの役割や船員の仕事等の説明によるPR。
- (4) 学校とパイプの無い会社の橋渡しの役割を果たし、採用会社数の底辺を拡大。

訪問に当たっては、例年通り海技教育機構本部との意見を交換を行い、各支部の協力を得て、組合員に参加を呼びかけ、当初30校の訪問を計画しましたが、日程調整等の関係から、訪問校は27校(海上技術学校7校、水産高校13校、工業高校1校、商船高専5校、商船系大学1校)にとどまりました。しかし、参加会社、参加人数は、延べ178社、228名と、昨年を大きく上回る参加者による訪問活動を実施することが出来ました。

(前年度対比：訪問校±0校、延参加会社数+70社、延参加者数+78名)

海上技術学校及び同短大生の内タン各社の採用実績については、他組合に比べても多くの採用実績があり、同時に採用会社数の増加による底辺の拡大により、着実に訪問活動の効果が浸透して来た感があります。(平成27年3月新卒採用120名)

水産高校については、組合員の採用実績がある学校、毎年出前授業の依頼を受けるなど好感触を得ている学校を中心に訪問を実施し、堅実な就職実績があります。(平成27年度新卒採用75名)。

商船高専については、訪問活動や各社の求人増加を反映して、徐々に内航タンカーを就職対象と考えている生徒が増加し、今後も就職実績の伸びが期待出来ます。(平成27年度新卒採用15名)

この他、関西支部で試みている、不足する機関部員の新規発掘に向けた工業高校生徒や将来の陸上管理者として期待される商船系大学生は、今後、いかに就職実績につなげるかが課題となっております。

また、本年度は、全国各地の水産高校より、地区の船員対策協議会、内航総連合会を通じて、内航船への求職希望生徒のリストが地区や学校毎にまとめられ、業界に情報提供があり、この方法も今後定着していけば、水産高校と業界をつなぐ大きなパイプとなり得ます。

組合員の平成28年3月の新卒生採用活動については、例年以上に積極的な求人活動が展開されましたが、平成27年度は、他業種からの求人数も増加する等、採用活動に苦戦した組合員もいるやに聞き及んでおります。

このため、平成28年度は、これまでの訪問活動によって作り上げてきた業界と学校の相互理解をさらに深め、訪訪問結果を当組合の施策に反映し、組合員各社の船員募集活動の一助となるよう継続した活動を展開して行きたいと考えております。今後とも、皆様の活動に対するご理解とご支援をお願いいたします。

訪問活動にあたり、当委員会委員はじめ、各支部より多くの方々のご協力をいただきました。ここに改めてお礼申し上げます。

平成28年3月
船員対策委員会
委員長 内藤 吉起

Ⅱ. 海技教育機構との懇談会議事概要

(第一部) 機構幹部との懇談会

日 時 : 平成 27 年 9 月 3 日 (木) 12 : 40～13 : 10

場 所 : 海技教育機構 (清水)

出席者 :

(機構幹部)

加藤理事長、大立理事、細田監事、堀教育企画部長、野村教育企画部次長、鈴木募集就職課長、村上主幹

(内タン船員対策委員会)

内藤委員長 (邦洋海運(株))、高橋副委員長 (昭和日タンマリタイム(株))、戎谷 (旭タンカー(株))、木下 (鶴見サンマリン(株))、嶋村 (浪速タンカー(株))、松浦 (幸福船舶(株))、北 (日新船舶(株))、三谷 (三谷海運(株))、阿部 (株霧島海運商会)、庭瀬 (明神海運(株))、松波 (株辰巳商会) 各委員、佐藤代理桐山 (上野トランステック(株))、目次 (事務局)

懇談会要旨 :

- ・ 内藤委員長より、毎年多数の内航タンカー船員を輩出頂くことへの謝意を述べられ、双方の現況と課題・情報交換により相互理解を図りたい。特に内航タンカー業界では、石油業界の再編、将来的な隻数の減少、船員の高齢化と船舶の老齢化が課題であるが、各社船員募集活動は活発である旨、また、本年度学校訪問に向けて協力願いたき旨挨拶。
- ・ 加藤理事長より、内航タンカー各社が卒業生多数の採用と採用会社の裾野が広がったこと、特に、夏休みの体験乗船では 86 名中約 4 割を内航タンカー各社が受け持ってもらい、また、教員乗船研修や社船実習でも積極的に協力頂いていることへの謝意が述べられた。業界からの厳しい意見や要望を真摯に受け止め、教育現場に生かし、生徒の 1/3 が内航タンカー各社に就職している現状からも、生徒の思いこみやミスマッチを減らし、定着率向上により業界との良好な関係を維持して行きたい旨挨拶。
- ・ この後、フリートーキングで業界全般の状況や機構本部の動きについて意見交換を行い、詳細についてはこの後の実務懇談会で意見交換を行うこととした。

(第二部) 清水海上技術短期大学校・海技教育機構職員との実務懇談会

日 時 : 平成 27 年 9 月 3 日 (木) 13 : 20～14 : 10

場 所 : 海技教育機構 (清水)

出席者 :

(清水短大)

田邊校長、遠藤教頭、毛利学生課長、楠学年主任

(機構職員)

堀教育企画部長、片岡教育課長、鈴木募集就職課長、村上主幹
(内タン船員対策委員会)

前掲 13 名

(学校訪問参加組合員)

藤澤 (幸洋汽船株)、坂井 (坂井汽船株)、三井 (中央海運株)

懇談会要旨

- ・ 内藤委員長より、当組合では本年度より船員問題をタクスフォースから格上げされた船員対策委員会で検討することとなり、引き続き機構・学校側のご協力をお願いしたき旨、また、清水校においても毎年多数の生徒が内航タンカーに就職頂いていることへの謝意、並びに、双方の現況と課題・情報交換により相互理解を図りたき旨、挨拶がなされた。
- ・ 田邊清水短大校長より、本日はこの後 1 年生と懇談を頂くが、入学後 5 ヶ月が過ぎ、生徒が就職に目を向けるには良い機会になると感謝している。清水校への入学応募は毎年 10 数%伸びており、これも業界の求人増による着実な就職実績が評価されている影響かと思う。内航タンカー各社への就職は、海上就職者の 1/4、内航海運の 1/2 を占め、引き続き求人への協力をお願いしたい。また、清水校では、教員不足にも悩んでいるので、船社から適任者がいれば紹介願いたき旨挨拶がなされた。

1. 内航タンカーの現況報告

事務局より、次の通り報告。

(1) 組合の現況 (平成 27 年 3 月末現在)

- ・ 組合員数 595 社、登録船 956 隻、911 千 G/T、1,695 千 m³
- ・ 全国に 7 つの支部、職員数計 15 名
- ・ 常設の委員会等 7、荷主との連絡会 2、船員対策委員会は本年度常設に格上げ。

(2) 輸送量 (平成 24~26 年度)

- ・ 白油 … エコカー普及等で販売量減少も、製油所間輸送等で横ばい。
- ・ 黒油 … 24 年度までは原発停止により電力向け需要が増加したが、その後 LNG、石炭へのシフトが進み、26 年度は震災前と同水準。
- ・ ケミカル … 中国需要の落ち込み、国内エチレン減産等で漸減傾向。
- ・ 特タン … 同様に内需不振も、品目毎の回復もありここ 1~2 年横ばい。

(3) 船腹量 (平成 24~26 年度)

- ・ 白油船 … 隻数は減少も大型船の代替えが進み、船腹量は微増。
- ・ 黒油船 … 同様に隻数減少も船腹量は微増。
- ・ ケミカル船 … 25 年度より隻数、船腹量は減少傾向。
- ・ 特タン船 … 特に小型船の減少が顕著、LNG 等の新規大型船は増加。

(4) 建造申請（平成 24～26 年度）

- ・ 25 年度までは、バブル期建造船の代替時期とも重なり、毎年約 40 隻、約 10 万 m³ の建造申請があったが、26 年度から一転、低調な建造ペースに移行。

(5) 内航タンカー船員実態

- ・ 平成 26 年 10 月現在、調査回収率 70%の実態調査によると、内航タンカー船員の平均年齢 47.9 才、50 才以上 55%、25 才未満 9%と高齢化。推計船員数合計は 9,170 名。
- ・ 内タン各社の新卒採用数は、毎年 100 名以上を確保し、特に平成 25 年は 235 名、26 年は 239 名と増加。その内、海技学校卒業生の採用数は、各 140 名、126 名と学校機関別では 6 割近くを占める。

(6) 平成 26 年度学校訪問実績

- ・ 20 年度より各支部毎にチームを組み、海上技術学校、水産高校等を訪問
26 年度は、海上技術学校全 8 校、水産高校 10 校、工業高校 3 校、高専 4 校、大学 2 校、計 27 校を訪問。27 年度も同様に訪問を実施中。

2. 機構の現況報告

事務局より、次の通り報告。

(1) 入学状況（本科・短大）

- ・ 入学定員 … 本科定員 140 名、短大定員 240 名、(28 年度より 390 名に)
- ・ 27 年度応募 … 本科 2.3 倍、短大 2.9 倍

(2) 海技試験合格率

- ・ 26 年度卒業生（4 級航・機両方の合格率）… 短大 96%、本科 82%

(3) 求人状況（本科、専修科、海大）

- ・ 毎年 350 名前後の就職希望に対し海上求人（官庁等除く）は、22 年度リーマンショック時を底に、25 年度 486 名、26 年度 641 名、27 年度 813 名と増加。
- ・ 内航の求人も 25 年度 296 名、26 年度 374 名、27 年度 466 名と着実に増加。
- ・ 27 年度の内航タンカー各社の求人は、86 社 284 名（内航の 6 割）と好調。

(4) 就職状況（本科、専修科、海大）

- ・ 過去 5 年間の海上就職者の内、内航の割合は約 6 割、内 5 割が内航タンカー。

(5) 就職のタイムスケジュール

- ・ 本科及び乗船実習科、短大（宮古・波方と清水）、海技大学校それぞれ、乗船実習時期が異なるため、生徒の就職活動も若干相違。
- ・ 27 年度の内定開始は 10 月 1 日以後のため未集計だが出足は好調な様子。

3. 清水海上技術短期大学校の現況

事務局より、次の通り報告。

(1) 在校生等

- ・ 1 年生 114 名（内女子 13 名）、2 年生 106 名（内女子 9 名）。

- ・28年度新入生の応募も1.4倍程度増加見込み。
 - ・2年生は9/10乗船実習下船、下船後就職活動、10/1~12/10まで再度乗船。
- (2) 就職状況
 - ・26年度 … 就職者106名中、内航58名、内.内航タンカー27名。
 - ・27年度 … 求人204社(昨年の1.3倍)、94名の就職希望者中83名は会社とコンタクト中(内航タンカーは約20名)、11名は応募未定。

4. 質疑応答、意見交換

- (内タン) 就職協定等の変更に伴う対応は。
- (機 構) 本科校は従来と変更がない。短大は学校推薦の時期が協定に併せ7月から8月に1ヶ月繰り下がった。
- (内タン) これから求人を出す場合、11名未定者の生徒だけが対象となるのか。
- (学校側) 会社に応募中の83名も就職試験はこれから実施され、内定は10月1日以降となる。試験に落ちた学生は再度、他社へのアプローチを開始する。
- (内タン) 小型船船社への就職の可能性は、また、学校では小型船船社でも分け隔てなく扱うか。
- (学校側) 小型船船社への就職実績もある。生徒は過去就職実績のある会社の人気が高い。学校の指導方針は、生徒の希望を第一に尊重し求人会社の情報提供を行い、最初から大型船社に絞り込むような指導は行わない。
- (内タン) 現在は、生徒が就職先を選ぶ時代となっているので、各地就業フェアで生徒とコンタクトを取る、学校訪問で先生との連携を密にする等、船社の努力も必要かと思う。
- (内タン) 在校生は先輩との情報交換が活発か。
- (機 構) 短大生は、乗船実習の関係で1、2年生一緒の期間が3ヶ月と短く、本科校に比べると上下間の情報交換は圧倒的少ないと言える。
- (内タン) 船員の年齢構成で説明した通り、55~60才、60~65才の年齢層が最も大きな数を占めており、年金問題等からしても多数の退職時期に入ったと言える。このため、内航タンカー各社の採用意欲は大変高く、今後も業界と生徒とのパイプ役としての活動を継続していきたいのでご協力願いたい。

※ 生徒との懇談時刻となったため、質疑応答は打ち切ることにしたが、残された質疑等があれば、生徒との懇談会内容も含め、事務局間で後日、取りつなぐこととした。

以 上

Ⅲ. 平成27年度・学校訪問一覧表

区分	No	地区	訪問校	訪問日	担当支部	訪問実績	
						社数	人数
海技教育機構	1	北海道	小樽海上技術学校	10月9日	関東	5	7
	2	岩手	宮古海上技術短期大学校	10月28日	関東	8	10
	3	千葉	館山海上技術学校	2月1日	関東	7	11
	4	静岡	清水海上技術短期大学校	9月3日	関東	15	16
	5	佐賀	唐津海上技術学校	11月9日	西部	6	9
	6	長崎	口之津海上技術学校	11月16日	西部	9	12
	7	愛媛	波方海上技術短期大学校	11月4日	四国	8	11
水産高校	8	北海道	小樽水産高等学校	10月9日	関東	5	7
	9	岩手	宮古水産高等学校	10月28日	関東	8	10
	10	神奈川	海洋科学高等学校	11月25日	関東	2	3
	11	愛知	三谷水産高等学校	6月11日	東海	6	8
				1月18日	関西	2	4
	12	三重	三重水産高等学校	6月11日	東海	5	7
	13	兵庫	香住高等学校	6月2日	関西	4	5
				9月28日		4	6
	14	京都	京都海洋高等学校	7月15日	関西	4	5
	15	福井	若狭高等学校	7月16日	関西	4	5
	16	富山	滑川高等学校	5月19日	関西	5	6
				5月25日		1	2
	17	香川	多度津高等学校	6月9日	関西	6	7
12月2日				10		12	
18	愛媛	宇和島水産高等学校※	2月2日	四国	5	6	
19	福岡	福岡水産高等学校	12月4日	西部	4	5	
20	鹿児島	鹿児島水産高等学校	12月11日	西部	2	3	
工業	21	奈良	王寺工業高等学校	6月3日	関西	2	3
商船高専	22	富山	富山高等専門学校	5月18日	関西	6	7
	23	三重	鳥羽商船高等専門学校	5月21日	関西	6	7
	24	愛媛	弓削商船高等専門学校	12月2日	四国	10	12
	25	広島	広島商船高等専門学校	12月7日	中国	10	11
	26	山口	大島商船高等専門学校	12月14日	西部	8	9
大学	27	兵庫	神戸大学	3月4日	関西	1	2
27校						178	228

※印 船員対策協議会と合同

海上技術学校・同短大	7	58	76
水産高等学校	13	77	101
工業高等学校	1	2	3
商船高等専門学校	5	40	46
商船系大学	1	1	2
計	27	178	228
前年度対比	±0	+70	+78

IV. 学校訪問における主な意見交換内容（抜粋）

（学校別訪問結果は、8頁V. 学校別訪問結果概要参照）

【 学校側の所見、要望等 】

- (1) 学校訪問等による継続的な業界説明を望む。(全学校)
- (2) 離職理由に、乗船期間、休暇が事前の説明と違うとの声もあり、採用間もない頃は、乗船期間や事前説明で配慮願いたい。(海技学校・短大、水産、高専)
- (3) 今年の求人、就職内定状況は好調、今後も継続的な求人を要望。(海技学校・短大)
- (4) 内航タンカーの求人票を望む。(水産高校、高専等)
- (5) 女子船員の求人拡大を望む。(海技学校・短大、高専)
- (6) 求人票公開、乗船実習時期に学校・短大委また学校毎に差異があり、面接・試験日等に会社側の配慮を望む。(海技学校・短大)

【 内タン訪問者の所見等 】

- (1) 学校との継続的な関係の構築が必要。
- (2) 内航タンカーの業界自体が認知されていない学校もあり、地道なPRが必要。
- (3) 生徒への説明は、学校によって簡易な内容と専門的な内容を使い分ける必要あり。
- (4) 学校の先生自身に内航タンカーの知識が無い方が多く、先生への説明も必要。
- (5) 商船高専生徒は、内航には来ないという認識を改める必要あり。

【 生徒からの主な質問 】

- (1) 内航タンカー船員の仕事(荷役、航海、危険性、新人船員の研修等)
- (2) 内航タンカー船員の労働条件(給料、休暇、船内生活、賄い、陸上勤務の有無等)
- (3) 企業が求める人材(性格、年齢制限、海技免状種類、他の資格、女子船員の採用等)
- (4) 業界の将来(原発・火力等のエネルギー事情、船腹の需給、省エネへの取組み等)

V. 学校別訪問結果概要

訪問校	(1) 小樽海上技術学校	訪問日	平成27年10月9日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	昭和日タンマリタイム(株)、三興運油(株)、幸洋汽船(株)、鶴見サンマリン(株)、明和海運(株)2名、本部事務局 (計7名)				
学 校	太田教頭、黒田指導課長ほか				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒全体説明 … 1年生37名、2年生31名、3年生24名 <ul style="list-style-type: none"> ・内航海運の役割(物流インフラ、安全保障の取組み、海上保安監視協力、故組み保護法、災害時輸送協定等) ・内航タンカー運送する石油製品精製までのプロセス及び船種の特異性、船型要件、航海・荷役関連全般説明 ・船員の心構え等 ○ 学校からの要望 <ul style="list-style-type: none"> ・乗船期間が3ヶ月、1ヶ月休暇の約束が、船員不足から守られず、辞める理由にする。配慮願いたい。 ・年齢格差が大きく辞めるケースがある。コミュニケーションの問題と思う。 ○ 生徒からの質問 <ul style="list-style-type: none"> ・船長になるには何年かかるか？ ・タンカーは危険物を積載しており、危険発生の可能性は？ ・船員が辞めた場合、会社が被る不利益は？ ・大型タンカー、中、小型タンカーでは、乗船期間に相違はあるか？ ・乗船期間を個人の要望で伸ばすことは可能か？ ○ 訪問者所見 <ul style="list-style-type: none"> ・1, 2年生は進路が不透明で、明確な意志表示はしていない。3年生でタンカーを希望する生徒は約10名程度。 ・道内の生徒は道内での就職を希望している生徒もいるが、最近はそれに拘る子は少ないようである。 ・道内在住の船員は、当地で上下船するので交代費用の問題は無いので、是非推薦願いたき旨伝えた。 ・今後、学校側と接触の機会を増やすことにより、タンカー業界への就職の可能性は多いにある。 				

訪問校	(2) 宮古海上技術短期大学校	訪問日	平成27年10月28日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	幸洋汽船(株)、坂井汽船(株)、三興運油(株)、昭和日タンマリタイム(株)、旭タンカー(株)、上野トランステック(株)、明和海運(株)、中央海運(株)、事務局2名 (計10名)				
学 校	船津校長、高石教頭、佐々木教務課長、枝元指導課長ほか				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒全体説明 … 1年生44名 <ul style="list-style-type: none"> ・内航タンカーの役割、活動、設備等(パワーポイント)、事業者が求める人材等 ・説明後、内航タンカー就職希望者挙手結果、約15名(1/3程度) ○ 生徒からの質問 <ul style="list-style-type: none"> ・30代、40代の場合、就職の年齢制限はあるか？ ・部員から職員に上がるまでの年数は？ ・4級以上の免状は必要か？ ・船の大きさによって荷役時間はどの程度違うのか？ ・船長や機関長になるまでの年数は？また、何歳程度が一般的か？ ・タンカー船員の強みと弱みを教えて欲しい？ ・途中で陸上勤務を希望した場合可能か？また、陸上勤務は義務化されているのか？ ○ 生徒への希望聴取 <ul style="list-style-type: none"> ・就職は次の中で何を主眼にするか？ 挙手結果…給料4.5割、休暇4.5割、賄いの食事1割 ・甲・機両用教育を経て、就職時どちらを志望するか？ 挙手結果…甲板8割、機関2割 ・タンカーの危険性のイメージは？ 挙手結果…石油タンカーは安全、ケミカル・ガスは危険 ○ 先生との懇談 <ul style="list-style-type: none"> ・2年生37名中、進学3名、34名就職希望、内29名は内定(甲板6割、機関4割) ・タンカー以外では、RORO、セメント船の就職希望が多い ・辞めてしまう生徒の理由に乗船期間延長がある。最近2chの書き込み等、情報伝達が早い。 ・就業フェア等で面談の際は、挨拶、掃除、船内規律等の基本的な事項の重要性を説明している。 				

訪問校	(3) 館山海上技術学校	訪問日	平成28年2月1日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	三興運油(株)、昭和日タンマリタイム(株)、銚子屋油槽船(株)、コスモ海運(株)2名、上野トランステック(株)、鶴見サンマリン(株)、明和海運(株)2名、事務局2名 (計11名)				
学 校	黒島教頭、佐々木教務課長、切江指導課長ほか				
内 容	<p>○ 生徒全体説明会 … 1年生45名、2年生36名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内航海運の役割(物流インフラ、安全保障の取組み、海上保安監視協力、故組み保護法、災害時輸送協定等) ・内航タンカー運送する石油製品精製までのプロセス及び船種の特殊性、燃焼と爆発の関係等 ・危険区域入域の注意事項、事故発生時の対応措置等 <p>○ 学校との懇談内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生の進路は、33名中30名は就職、3名の進学は海洋大学・海技大学校ほか ・過去3年間の卒業生の離職率は20%程度、離職者が学校に再就職の問い合わせにより、紹介、成立事例あり ・学校の要望として、短大の就職活動が早いので、本科の募集枠が狭められることが心配。会社から早めの訪問等を期待している。本件は、業界に要望内容を伝えると約束。 <p>○ 生徒からの質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船内の生活環境…船内楽しみ、船内設備、食事のおいしさ等、1人部屋か否か、携帯のつながり、女子の設備等 ・船員の職務内容…航海中の揺れ、船への携帯品、人間関係の大変さ、仕事のつらいこと、船内持ち得込み禁止品 三級免状で船長、機関長になれるか、他の資格は必要か ・給与と休暇…給与の具体例、船内休暇はどのくらい、女性との出会い、入港時の外泊、ボーナスは何ヶ月 女子の産休後の体制は、乗船と休暇のローテーション ・訪問各社の業務内容…新造船の有無、白油船と黒油船どらが多いか、船の大きさ、船長になるまでの年数、人間関係で今からやること、賄いは乗っているか、女子船員はいるか、タンカーの良いところ、乗船人数等 <p>○ 生徒への希望聴取</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職は次の中で何を主眼にするか? 挙手結果…給料10名、休暇2/3、賄いの食事は若干名 <p>○ 所見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の説明時の聴き取り態度は概ね良好、陸上の求人が増加する中、本校生徒の内航タンカーへの就職に期待 				

訪問校	(4) 清水海上技術短期大学校	訪問日	平成27年9月3日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	邦様海運(株)、昭和日タンマリタイム(株)、旭タンカー(株)、鶴見サンマリン(株)、浪速タンカー(株)、幸福船舶(株)、日新船舶(株)、三谷海運(株)、霧島海運商會(株)、明神海運(株)、(株)辰巳商會、上野トランステック(株)、幸洋汽船(株)、坂井汽船(株)、中央海運(株)、事務局 (計16名)				
学 校	田邊校長、遠藤教頭、毛利学生課長ほか				
内 容	<p>○ 先生との懇談概要</p> <p>2年生の就職内定状況 … 求人は例年の1.3倍と増加在校生106名中、就職希望94名、83名は会社とコンタクト中(内、タンカー20名)、11名未定、正規内定はこれからだが、試験に落ちると他社へコンタクト開始。</p> <p>○ 生徒への説明と質疑・応答(1年生114名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンカーは厳しいと聞くが、具体的に何が厳しい? ・エコカー、石炭、LNG、原子力、水素等、将来の石油輸送は? ・海技免状以外資格は必要か? ・3ヶ月乗船、1ヶ月休暇の説明だが、3ヶ月以上乗ることは? ・デッキ、エンジンどちらが不足か? ・女性船員はタンカー業界で何人か? ・女性船員は能力が互角でも面接で不利か? ・白・黒の隻数割合は?…自動荷役装置の運用は? ・白・黒・ケミカル等で給料の違いは? ・本日訪問各社の主な取引先は? ・ケミカルタンカーに労災が多いと聞いているが、その理由は <p>○ 生徒への希望聴取</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒へ内航タンカー就職希望の挙手…約25名 <p>○ 学校からの要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女子学生でも、タンカー乗船を希望している子がいるので、採用を検討願いたい ・最近の学生は、休暇の取得を重要視しているので、配慮願いたい。 ・本科4校、専修科3校、それぞれの特徴に合った求人票を望む <p>○ 訪問所見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在は、生徒が就職先を選ぶ時代、各地就業フェアで生徒とコンタクトを取る、学校訪問で先生との連携を密にする等、船社の努力も必要 				

訪問校	(5) 唐津海上技術学校	訪問日	平成27年11月9日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	三興運油(株)、(有)百本海運、三重海運(株)、旭タンカー(株)、鶴見サンマリン(株)、明和海運(株)2名、本部・西部事務局 (計9名)				
学 校	園田校長、野村教頭、松本教務課長、橋本指導課長ほか				
内 容	<p>○ 生徒全体説明 … 1～2年生82名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内航海運の役割(物流インフラ、安全保障の取組み、海上保安監視協力、故組み保護法、災害時輸送協定等) ・内航タンカー運送する石油製品精製までのプロセス及び船種の特異性、燃焼と爆発の関係等 ・危険区域入域の注意事項、事故発生時の対応措置等 <p>○ 学校からの説明・要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年は求人倍率2.5倍、甲・機希望では圧倒的に航海士が多い ・乗船期間は3ヶ月、休暇1ヶ月を希望。長くなると退職理由につながり、ローテーション遵守を希望 ・継続的な採用活動希望 ・生徒の出身は、福岡、大分、長崎など九州出身が7割と地域性が濃い ・3年生で内航タンカーの内定が3割、その他は貨物、フェリー、タグなど <p>○ 生徒の質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンカー航海士として所持が必要な資格？ ・タンカーの航海で最も難しい海域は？ ・タンカーでの具体的な機関整備作業は？ <p>○ 生徒への希望聴取、所見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒へ内航タンカー就職希望の挙手…1割以上 ・就職での重要視は、休暇、給料、食事の順 ・乗船中、いかなる場所でも友人等との連絡が取れることも全員希望 ・ライフスタイルや価値観の変化を痛感 				

訪問校	(6) 口之津海上技術学校	訪問日	平成27年11月16日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	三興運油(株)、(有)百本海運、中央海運(株)、旭タンカー(株)、鶴見サンマリン(株)、上野トランステック(株)、明和海運(株)2名、幸洋汽船(株)、本部・西部事務局 (計11名)				
学 校	中島校長、森教頭、永田指導課長ほか				
内 容	<p>○ 生徒全体説明 … 1年生33名、2年生32名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内航海運の役割(物流インフラ、安全保障の取組み、海上保安監視協力、故組み保護法、災害時輸送協定等) ・内航タンカー運送する石油製品精製までのプロセス及び船種の特異性、燃焼と爆発の関係等 ・危険区域入域の注意事項、事故発生時の対応措置等 <p>○ 学校からの説明・要望</p> <p>○ 学校からの要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年は求人倍率0.5倍、甲・機希望では圧倒的に航海士が多い ・生徒は、天草、五島、佐世保出身者の地元が多く、遠隔地からの入学希望は少ない。一般高校も同様 ・3年生の就職内定は、30名中、18名。内タンカーへは数名 ・乗船後の教育について、長い目で見て業界に残るよう育てて欲しいとの要望 <p>○ 生徒への希望聴取、所見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒へ内航タンカー就職希望の挙手…3～4名 ・就職での重要視は、休暇、給料、食事の順 ・乗船中、いかなる場所でも友人等との連絡が取れることも全員希望 ・他校に比較して船員になるための意識がやや低いように見受けられる。3年生時の意識改革に期待。訪問の継続によりタンカー船への知識を広げてもらい、興味を持ってもらう必要がある 				

訪問校	(7) 波方海上技術短期大学校	訪問日	平成27年11月4日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	山本汽船㈱、麗澤海運㈱、三鳳汽船㈱、興栄海運㈱、昭和日タンマリタイム㈱、㈱デュカム、東汽船㈱、中央海運㈱、明和海運㈱2名、本部・四国事務局（計12名）				
学 校	吉田校長、澤田教頭、西村庶務課長、鶴田教務課長、赤尾学生課長				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒全体説明 … 80名 <ul style="list-style-type: none"> ・内航海運の役割(物流インフラ、安全保障の取組み、海上保安監視協力、故組み保護法、災害時輸送協定等) ・内航タンカー運送する石油製品精製までのプロセス及び船種の特殊性、燃焼と爆発の関係等 ・危険区域入城の注意事項、事故発生時の対応措置等 ○ 学校側の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・2年生79名中、内定63名(甲51,機22)で、タンカーへの就職者19名、その他はタグ、コンテナ、フェリー等 ・乗船期間は3ヶ月、1ヶ月休暇。乗船期間が長いと退職するケースが散見 ○ 訪問者所見 <ul style="list-style-type: none"> ・4割が内航タンカー企業に就職しており、詳細な説明及び質疑により相互理解の必要を感じた。 <p>次年度からは、2時間程度の時間配分を確保したい</p>				

訪問校	(8) 小樽水産高等学校	訪問日	平成27年10月9日	実施事項	懇談・意見交換
内タン	昭和日タンマリタイム㈱、三興運油㈱、幸洋汽船㈱、鶴見サンマリン㈱、明和海運㈱2名、本部事務局（計7名）				
学 校	柴田教諭、木村教諭、榎山教諭				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校側と懇談 <ul style="list-style-type: none"> ・内航タンカーの訪問目的、船員不足に備え、水産高校からも積極的な採用を検討している旨説明 ○ 学校側現状 <ul style="list-style-type: none"> ・専攻科(航海)10名 ・本科(海洋漁業科)33名 この内、海上就職希望者は8名、専攻科進学5名、漁業関係数名でその他は陸上(潜水土等) ・以前は、道内就職を希望する生徒が多かったが、最近では道内以外も少なくない ・学校では、生徒の希望船種を推薦(毎年タンカーへの就職がある) ・専攻科は3級認定が可能なので、3月の口頭合格で4月から免状有効 ○ 所見 <ul style="list-style-type: none"> ・今回は専攻科生徒への説明が出来なかったが、タンカーへの就職実績もあり、次回は説明機会を設けたい ・教諭がタンカー船の知識があまり無いので、説明の機会を増やし理解を広げ、生徒の就職増加につなげたい 				

訪問校	(9) 岩手県立宮古水産高等学校	訪問日	平成27年10月28日	実施事項	懇談・意見交換
内タン	幸洋汽船㈱、坂井汽船㈱、三興運油㈱、昭和日タンマリタイム㈱、旭タンカー㈱、上野トランステック㈱、明和海運㈱、中央海運㈱、事務局2名（計10名）				
学 校	今副校長、和田進路指導主事、竹内教諭				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先生との懇談 <ul style="list-style-type: none"> ・内航タンカーの船員高齢化の現状、業界活動として若年船員確保のため、学校訪問を実施している趣旨を述べ、学校の現状、現時点の求人状況等、幅広く意見交換を実施 ○ 学校及び就職の現状 <ul style="list-style-type: none"> ・本年度、専攻科(航海のみ)7名中4名は内定、未定3名の内、1名は保安庁、2名は商船希望で活動中 ・来年度は、専攻科(航海)6名卒業 ・本科の30名の生徒は、海洋コース、機関コースで、船員になりたい生徒は、海洋コースは専攻科に進み、機関コースは、宮古海技短大等へ進学 ・専攻科は、航海のみで、3級筆記免除の学校ライセンスは無い。(生徒は受験して取得) ・卒業生は、内航タンカー各社へも就職実績がある ○ まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・専攻科の生徒は、商船会社への就職希望が大半であり、今後も情報交換を行い、求人、求職について協力を約束 				

訪問校	(10) 神奈川県立海洋科学高等学校	訪問日	平成27年11月25日	実施事項	先生懇談・意見交換
内タン	旭タンカー(株)、明和海運(株)、本部事務局 (計3名)				
学 校	浅尾進路支援総括教諭、角本総括教諭				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先生との懇談 <ul style="list-style-type: none"> ・内航タンカーの訪問目的、船員不足に備え、水産高校からも積極的な採用を検討している旨説明 ○ 学校の現状 <ul style="list-style-type: none"> ・専攻科定員…航海10名、機関10名、通信10名、ほぼ全員が就職希望、 内定は、航海は6名が商船、1名は漁業、機関は3名が自衛隊、1名は内航、通信は公務員等陸上 ・本科は、航海25名、機関15名、その他コースは船舶以外 ・専攻科生は6月の運輸局就業フェアに参加させる ○ 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・内航船のインターンシップが出来ないか、学校でも研究している ・業界では部員の候補生も必要としているが、生徒の抵抗はあるか？との質問に、卒業生の一例で、職員を希望せず自身が部員職務が合っているとの希望を会社に申し出ている例もあり、考え方はさまざまと回答あり ・次回は、3月または4月以降に、生徒への業界説明の機会を設けることで前向きに検討頂くこととした ○ 所見 <ul style="list-style-type: none"> ・タンカーへの就職実績は数名あり、関係を継続していけば就職増加の期待を持てる 				

訪問校	(11)-① 愛知県立三谷水産高等学校	訪問日	平成27年6月11日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	東海タンカー(株)、木村海運(株)、横田海運(有)、東幸海運(株)、光隆海運(株)、(有)富士汽船、幸福船舶(株)、東海、関西事務局(計8名)				
学 校	丸崎校長、岩口進路指導、五藤先生、瀬下先生				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒全体説明 … 専攻科7名(航5、機2)、本科3名(専攻科志望) <ul style="list-style-type: none"> ・同校本科航海5名、専攻科航海2名 合計7名に対し、タンカーの職種、船員の仕事求められる人材等説明 ・内タン作成の内航タンカー船員募集PRパワーポイントを活用し、説明を行った。 ○ 生徒からの質問等 <ul style="list-style-type: none"> ・タンカー乗組員の魅力と辛い事は何か、・必要な資格とは何か ・無線の資格は必要か ・甲板部員が機関部の仕事を手伝うことはあるのか ・仕事は何が一番つらいのか？ ・食事はどのようなメニューなのか？ ○ 所見 <ul style="list-style-type: none"> ・本日は、機関部の生徒が急に実習となったので、甲板のみの出席となった。 				

訪問校	(11)-② 愛知県立三谷水産高等学校	訪問日	平成28年1月18日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	(有)オリエンシップ、木村海運(株)、東海、関西事務局(計4名)				
学 校	岩口進路指導ほか				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒全体説明 … 本科2年生航海3名、機関科2名 タンカーの職種、船員の仕事求められる人材等説明 <ul style="list-style-type: none"> ・同校本科航海5名、専攻科航海2名 合計7名に対し、タンカーの職種、船員の仕事求められる人材等説明 ・専攻科進学を検討している8名が新たに参加し、再度説明 ○ 生徒からの質問等 <ul style="list-style-type: none"> ・タンカー乗組員の魅力と辛い事は何か、・必要な資格とは何か ・在学中に取れる資格は、何が必要か。 ・甲板部員が機関部の仕事を手伝うことはあるのか ・漁船と商船の違い。 				

訪問校	(12) 三重県立水産高等学校	訪問日	平成27年6月10日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	東海タンカー(株)、木村海運(株)、横田海運(株)東幸海運(株)、光隆海運(株)、(株)富士汽船、幸福船舶(株)、関西・葉槽船事務局(計8名)				
学 校	徳田校長、赤田進路指導部長ほか				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒全体説明 <ul style="list-style-type: none"> ・本科3年海洋科23名、機関科26名、専攻科1・2年生 15名に対し、タンカーの職種、船員に求められる人材説明 ・内タン作成の内航タンカー船員募集PRパワーポイントを活用し、説明 ○ 生徒からの質問等 <ul style="list-style-type: none"> ・荷役作業について、 ・タンカー船員の資格等について ・給与面について ・平水船の話 ・労働条件について(3か月乗船・2か月乗船・日帰り)等について ○ 先生との意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・同校は、寮が使えず、地元若しくは、下宿や一人暮らし(専攻科)が多く、非常に厳しい状況であるとの事。 				

訪問校	(13) -①兵庫県立香住高等学校	訪問日	平成27年6月2日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	木村海運(株)、(株)オリエンシップ、日栄タンカー(株)、井上船舶(株)、関西・葉槽船事務局 (計5名)				
学 校	青木海洋学科長、岩本進路指導部長、田中進路指導部教諭				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒全体説明 <ul style="list-style-type: none"> ・オーシャンコース3年生15名(女子1名)の内、就職希望5名内2名タンカー希望 進学希望10名(他校専攻科4名 海技短大4名その他2名)に対し説明、 総連作成DVDを見てもらった後、具体例を挙げフリートーカー形式で説明を実施。 また、卒業生でもある、井上船舶(株)井上社長からも、実態談を交え状況説明を願った。 5級筆記免除という資格があるので、それを生かさない手はないとの事を、強調された説明 海技短大などへ進学し4級を取得してほしい旨説明 ○ 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・かなりの数で内航志望が増えている状況で、入学時より目標を持ってくる生徒が増えた ・海洋学科のみ定員割れせず海洋学科入試をあきらめ普通科を受験している生徒が出ている状況 				

訪問校	(13) -②兵庫県立香住高等学校	訪問日	平成27年9月28日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	(株)オリエンシップ、日栄タンカー(株)、林船舶(株)、(株)富士汽船、関西・葉槽船事務局 (計5名)				
学 校	青木海洋学科長、岩本進路指導部長、田中進路指導部教諭				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒全体説明 <ul style="list-style-type: none"> ・オーシャンコース2年生14名に出前授業を実施。 総連作成のDVDと 内タン作成パワーポイントにより、説明。 ・14名の内、10名就職希望 内、内航船6名内1名タンカー希望 ・漁船2名、自衛隊、保安官希望それぞれ1名 進学希望4名(4年生大学1名 海技短大3名)。 ○ 生徒全体説明 <ul style="list-style-type: none"> ・質疑応答では、個々の就職希望を確認の後、それぞれアドバイスの説明を実施 ・また、海技短大へ進学するのであれば甲板・機関両用でしっかり4級を取得して、船員になってほしい旨説明 ○ 所見 <ul style="list-style-type: none"> ・同校は海洋科の先生方の努力で内航船への方向付けが、できていると感じた。 				

訪問校	(14) 京都府立京都海洋高等学校	訪問日	平成27年7月15日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	木村海運(株)、横田海運(有)、西本海運、松田汽船(株)、関西・薬槽船支部(計5名)				
学 校	高木海洋工学部長、石川講師				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒全体説明 <ul style="list-style-type: none"> ・同校 航海船舶コース 2年生19名を対象にパワーポイントを活用し、内容を説明。 ○ 生徒からの質問 <ul style="list-style-type: none"> ・タンカー業界の船員状況、タンカーマンの条件、就職状況等の専門的な質問が生徒より出された。 ・3ヶ月乗船、1ヶ月休暇は本当か ・3ヶ月間の船内生活環境は ・タンカー 船員は海技士のほかに資格は必要か ○ 先生との意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・継続的な関係の構築について懇談、就職希望者がいれば連絡願いたき旨依頼 				

訪問校	(15) 福井県立若狭高等学校	訪問日	平成27年7月16日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	木村海運(株)、横田海運(有)、西本海運、松田汽船(株)、関西・薬槽船支部(計5名)				
学 校	毛利水産部長				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒全体説明(父兄含む) <ul style="list-style-type: none"> ・海洋科学科2年生3年生30名小浜専攻科の3年生2名並びに父兄5名に対し、総連合会監修のDVDを視聴 ・タンカーの職種・船員、仕事・求められる人材等について、PRパワーポイントを活用し、説明。 ・給与面について陸上就職との比較について説明 ○ 生徒、父兄からの質問 <ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月の乗船中、陸に上がることはないのか ・給料はいくらか ・内航船乗組員の勤務形態、休日について ・携帯電話やテレビ、部屋の環境について内航船舶の面白みについて等の質問が出された。 				

訪問校	(16) 富山県立滑川高等学校-①	訪問日	平成27年5月18日	実施事項	懇談・意見交換
内タン	田渕海運(株)、昭和日タンマリタイム(株)、コスモ海運(株)、東幸海運(株)、(株)辰巳商会、関西・薬槽船事務局(計6名)				
学 校	山本海洋科主任				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先生との意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年末の卒業生2名が、清水の短期大学校へ進学した ・本年度の3年生でも海上技術短大への進学希望者があるとの説明 ・本日、表敬訪問であるが、来週の25日出前授業を要望されたので、対応することとした ・学校としても船員へと希望が増えるように、教えていきたいとされた 				

訪問校	(16) 富山県立滑川高等学校-②	訪問日	平成27年5月25日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	(有)オリエントシップ、関西・薬槽船事務局(計6名)				
学 校	山本海洋科主任				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒全体説明 <ul style="list-style-type: none"> ・海洋科2年生 47名に対し、授業を実施 ・総連作成のDVD及び内タンパワーポイントにより、船員の仕事、タンカー船の仕事、給与体系等を説明 ○ 生徒からの質問 <ul style="list-style-type: none"> ・富山から出ないで就職できるのか ・給料は新卒でどの程度もらえるのか。 ・女性の就職率は 				

訪問校	(17) 香川県立多度津高等学校-①	訪問日	平成27年6月9日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	㈱三洋海運商会、甲子汽船(有)、イノガストランスポート㈱、興栄海運㈱、四国中央汽船(有)、NSユナイテッドタンカー(株)、関西・薬槽船事務局 (計7名)				
学 校	鳴海教諭、増田教諭ほか				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒全体説明 <ul style="list-style-type: none"> ・専攻科1年生 7名(甲板3名機関4名)に対し、授業を実施 ・内タン作成の内航タンカー船員募集PRパワーポイントが不調の為パンフレットのみで説明 ○ 生徒からの質問 <ul style="list-style-type: none"> ・液体製品の性状の話 ・荷役作業の時間などについて ・荷役作業の難しさについて ・乗船のサイクル(3か月乗船。1か月休暇)の変更などの対応について ・数隻ある会社では、休暇明けまた同じ船に乗船するのか？ ・船内環境について(大きさに関係なく個室対応なのか等) ・海技士免許について ○ 先生との意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・継続的な情報交換について懇談 				
訪問校	(17) 香川県立多度津高等学校-②	訪問日	平成27年12月2日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	㈱三洋海運商会、甲子汽船(有)、三興海運㈱、興栄海運㈱、大光船舶㈱、木村海運㈱、山本汽船㈱、(有)富士汽船、明和海運㈱、松田汽船㈱、関西・薬槽船事務局 (計12名)				
学 校	中西水産部長				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒全体説明 <ul style="list-style-type: none"> ・本科2年生29名(航海科14名、機関科15名)に内タン作成のDVD・パワーポイントを使用して説明 ○ 生徒からの質問 <ul style="list-style-type: none"> ・時間の都合もあり、2, 3の質問しか出なかったが、訪問者から丁寧な回答・説明をしてもらった。 ・質問事項は休暇に関する件、給料に関する件だった。 				
訪問校	(18) 愛媛県立宇和島水産高等学校	訪問日	平成28年2月2日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	山本汽船(株)、愛和海運(株)、東海運(株)、興栄海運(株)、(株)エスワイクプロモーション、四国事務局 (計6名)				
船対協	愛媛船対協、四国運輸局				
学 校	揚村海洋技術課長、遠矢教諭ほか				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒全体説明 … 海洋技術科2年生22名、専攻科1年10名 <ul style="list-style-type: none"> ・運輸局から、内航海運と船員、海技免状の乗船履歴について説明 ・内タンより、業界全般の説明 ○ 生徒希望聴取 <ul style="list-style-type: none"> ・内航船に乗りたい … 25名 ・タンカーに乗りたい … 16名 ○ 生徒からの質問 <ul style="list-style-type: none"> ・船にWi-fiはついているか ・福利厚生はどうなっているか ・休暇の取り方はどうなっているか ・在学中に必要な資格はあるか ・航海日数と休暇の日数は何日か ・給料、手当の体系は 				

訪問校	(19) 福岡県立水産高等学校	訪問日	平成28年12月4日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	三興運油(株)、(有)百本海運、(株)霧島海運商会、明和海運(株)、西部事務局 (計5名)				
学 校	花田校長、吉田進路指導主事、押場海洋課主任				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒全体説明 … 生徒(2年生55名) <ul style="list-style-type: none"> ・訪問の趣旨 ・パワーポイントを使っての内航タンカー説明 ○ 生徒希望聴取 <ul style="list-style-type: none"> ・タンカーに乗りたい … 0名 (具体的進路を決めていないため) ・乗船期間3ヶ月は長いかな … 3名挙手 ○ 生徒からの質問 <ul style="list-style-type: none"> ・給料はいくらぐらいですか？ ○ 学校からの要望 <ul style="list-style-type: none"> ・女性船員の受入を増やして欲しい 				

訪問校	(20) 鹿児島県立水産高等学校	訪問日	平成28年12月11日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	三興運油(株)、明和海運(株)、西部事務局 (計3名)				
学 校	八木海洋課教諭(進路指導主任)				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒全体説明 … 生徒(2～3年生+専攻科生40名) <ul style="list-style-type: none"> ・訪問の趣旨 ・パワーポイントを使っての内航タンカー説明 ○ 生徒希望聴取 <ul style="list-style-type: none"> ・タンカーに乗りたい … 0名 (具体的進路を決めていないため) ・漁船に乗りたい … 3名挙手 ・海上食を希望 … ほぼ全員挙手 ・乗船期間3ヶ月は長いかな … 10名挙手 ・1ヶ月の休暇は魅力かな … ほぼ全員挙手 ・会社の選択基準 … 給料20、休暇15、食事3 ○ 生徒からの質問 <ul style="list-style-type: none"> ・求人票に危険物取扱者の資格が条件となっていたがどうなのか？ ・女性でも採用してもらえるのか？ ○ 学校からの要望 <ul style="list-style-type: none"> ・実習で内航を走るといったこともないので、即戦力ということではなく、就職してから育ててほしい。 				

訪問校	(21) 奈良県立王子工業高等学校	訪問日	平成27年6月3日	実施事項	懇談・意見交換
内タン	(有)オリエントシップ、日栄タンカー(株)、関西・薬槽船事務局 (計3名)				
学 校	堀山進路指導担当(教諭)				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 合同説明会に内タンのブースを設け説明 <ul style="list-style-type: none"> ・1年から3年生全学年が自由に見学し、説明を聞くスタイルで実施。 ・内航タンカーブースには、2年機械工学科3名、2年情報電子工学3名3年情報電子工学11名が参加。 ・パンフレットをもとに、船員の仕事、環境、条件などについて詳しく説明 ・卒業後、就職は、不可能ではないが、海技術短大への進学をする方が、良い条件で就職できることを説明 ○ 先生との意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・船員という職業に興味を示している生徒が増えてきているようである旨説明あり 				

訪問校	(22) 国立富山高等専門学校	訪問日	平成27年5月18日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	邦洋海運㈱、昭和日タンマリタイム㈱、コスモ海運㈱、田淵海運㈱、東幸海運㈱、㈱辰巳商会、関西・薬槽船事務局 (計7名)				
学 校	笹谷先生				
内 容	<p>○ 生徒全体説明 … 同校 3・4年生16名(内女子1名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内航タンカーの活動・船種・設備 ・各社から、内航船社の仕事、求める人材等 <p>○ 生徒からの質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機関と航海ではどちらが有利であるのでしょうか？ ・船員採用の後、陸上勤務は、あるのか。 ・タンカーに就職する際に別途必要な資格は何？ ・今まで商船高専からの採用状況は？ ・TOEICは何点以上必要か？ ・タンカー船乗船の給料はどのような船でも一緒であるのか？ ・機関部でも入出港作業を手伝う必要はあるのか？ ・女性の就職はどのようなものか ・乗船中。休暇中の病気などに対する扱いはどのようなものか？ <p>○ 先生との意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現5年生1/2 陸上志望1/2海上志望内、1/4外航志望 ・8月頃、外航の求人と試験が実施。9月以降求人をお願いしたい ・5年生の4～6月頃に就職説明を希望 ・練習船乗船中に寄港地において、就業フェアを開催すれば喜んで参加する ・学校としては、海上勤務率を上げたい ・3年生修了時に進路の方向付けをする生徒が多い ・次回3年生を対象として出前授業をお願いしたいとされた 				

訪問校	(23) 国立鳥羽商船高等専門学校	訪問日	平成27年5月21日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	邦洋海運㈱、田淵海運㈱、㈱辰巳商会、大光船舶㈱、昭和日タンマリタイム㈱、国華産業㈱、関西・薬槽船(計7名)				
学 校	伊藤商船学科長(機関コース主任)、片岡航海コース主任				
内 容	<p>○ 生徒全体説明 … 5年生 22名(女1)エンジン6名 航海 16名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内航タンカーの活動・船種・設備 ・各社から、内航船社の仕事、求める人材等 <p>○ 生徒からの質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務内容、資格、給与面等質問 <p>○ 先生との意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・22名中船員希望であるが、船種限定されていない ・授業終了後、先生と懇談をし、今まで外航志向が強かったが、内航も興味を示している ・5年生は1年間陸上にいるので、就活など春から行っている、6月頃求人をいただきたいと要望 ・練習船乗船中に寄港地において、就業フェアを開催すれば喜んで参加する 				

訪問校	(24) 国立弓削商船高等専門学校	訪問日	平成27年12月2日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	麗澤海運(株)、上野トランステック(株)、興栄海運(株)、東汽船(株)、鶴見サンマリン(株)、三興運油(株)、(株)エスワイプロモーション、明神海運(株)、三ツ浜汽船(株)2名、明和海運(株)、四国事務局 (計12名)				
学 校	木村校長ほか6名				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒全体説明 … 4年生 35名 <ul style="list-style-type: none"> ・内航タンカーの活動・船種・設備 ・各社から、内航船社の仕事、求める人材等 ○ 生徒からの質問 <ul style="list-style-type: none"> ・入社までの必要な資格は ・ケミカル船の積荷と月間航海数 ・入社後、甲板から機関への変更は可能か ○ 先生との意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・内航タンカーの船員対策の取り組み内容 ・カボタージュに関する質問 ・学校の予算増加へ産業界の後押しについて ・就職の内定状況は、外航より内航が多く、特にタンカー会社が多い 				

訪問校	(25) 国立広島商船高等専門学校	訪問日	平成27年12月14日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	麗澤海運(株)、上野トランステック(株)、(株)デュカム、興栄海運(株)、鶴見サンマリン(株)、昭和日タマリタイム(株)、(株)霧島海運商会、三興運油(株)、明和海運(株)、国華産業(株)、中央海運(株)、中国事務局 (計12名)				
学 校	瀧口商船学科教授、小林准教授、河村前年就職担当				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒全体説明 … 商船学科3年生46名 <ul style="list-style-type: none"> ・内航タンカーの活動・船種・設備 ・各社から、内航船社の仕事、求める人材等 ○ 生徒からの質問 <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットに23歳で航海士がいますが、一航には何歳でなれますか ・給料はいくらですか ・下船中の給料はどのくらい減るのですか ・海上希望ですが、女性の職はありますか ○ 生徒への質問 <ul style="list-style-type: none"> ・内航タンカー就職希望挙手 … 6割 ○ 先生との意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・5年生の就職はほぼ内定 ・生徒の50%以上は広島県外から ・1～2級合格者もここ数年で増えてきている ・平成26年度卒業進路は、航海70%が海上、20%が進学、機関は50%が海上、20%が進学 ・求人活動は4、5月に企業に来て欲しい 				

訪問校	(26) 国立大島商船高等専門学校	訪問日	平成27年12月14日	実施事項	生徒説明・懇談・意見交換
内タン	上野トランステック㈱、㈱デュカム、興栄海運㈱、鶴見サンマリン㈱、昭和日タンマリタイム㈱、㈱霧島海運商会、三興運油㈱、明和海運㈱、西部事務局（計9名）				
学 校	古本教授				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒全体説明 … 商船学科4年生43名 <ul style="list-style-type: none"> ・内航タンカーの活動・船種・設備 ・各社から、内航船社の仕事、求める人材等 ○ 生徒からの質問 <ul style="list-style-type: none"> ・タンカーの良いところ、悪いところ ・船員になるために、学生時代に勉強しておくこと ・ケミカルタンカーは危険なのか ・内航船社がたくさんある中で、どういう会社を希望すれば良いか ・女子船員の採用は考えてもらえるか ・船員になるためには、高専と大学卒は、どちらが有利か ・会社では、船員と陸員のキャリアどちらを優先させるのか ○ 先生との意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・外航の求人は少なく、現状は、4割が内航に就職 ・内航船でOJTが出来るよう検討願いたい ・求人のある会社は、早めに学校にアプローチして欲しい ・内航の就職希望者は増加しているので、今後も情報交換を行う 				

訪問校	(27) 神戸大学	訪問日	平成28年3月8日	実施事項	懇談・意見交換
内タン	田渕海運㈱、関西・薬槽船事務局（計2名）				
学 校	合同企業説明会				
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業と学生の合同就職説明会 <ul style="list-style-type: none"> ・企業ブース設置による就職説明会で内タンパンフレット等配布しPR ・参加企業は船会社・造船所・他50社位(午前) ・タンカーに興味を示した学生は4～5名いた 				

VI. 水産高校生の求職希望に対する情報提供

本年度は、全国各地の水産高校より、運輸局、地区の船員対策協議会、内航総連合会、又は直接内タン宛、内航船への求職希望生徒のリストが地区や学校毎にまとめられ、下表一覧の通り業界に情報提供があった。このため、組合員の就職活動の一助に供するため、メール網等を活用して即時に組合員へ通知した。

地区	学校名	科	職種	人数	情報提供日
四国	徳島県徳島科学技術高校	本科	機関	5	H27.5.26
〃	〃	〃	事務	1	〃
〃	香川県多度津高校	本科	航海	5	〃
〃	〃	〃	機関	3	〃
〃	〃	専攻科	航海	5	〃
〃	〃	〃	機関	5	〃
〃	高知県高知海洋高校	本科	航海	2	〃
〃	〃	専攻科	航海	5	〃
〃	〃	〃	機関	4	〃
〃	愛媛宇和島水産高校	専攻科	航海	7	〃
〃	〃	〃	機関	2	〃
東北	岩手県宮古水産高校	専攻科	航海	4	H27.6.29
〃	宮城県気仙沼向洋高校	専攻科	航海	3	〃
〃	〃	本科	航海	5	〃
〃	宮城県水産高校	本科	機関	3	〃
〃	〃	専攻科	機関	2	〃
〃	〃	〃	航海	3	〃
〃	山形県加茂水産高校	本科	航海	2	〃
〃	〃	〃	機関	1	〃
〃	青森県八戸水産高校	専・本科	航海	3	〃
〃	〃	〃	機関	5	〃
〃	福島県いわき海星高校	専攻科	航海	6	〃
九州	福岡県水産高校	本科	航海	4	H27.7.3
〃	〃	〃	機関	4	〃
〃	〃	専攻科	航海	2	〃
〃	〃	〃	機関	2	〃
〃	長崎県長崎鶴洋高校	本科	航海	8	〃
〃	〃	〃	機関	3	〃
〃	熊本県苓洋高校	本科	航海	4	〃
〃	大分県津久見高校	本科	航海	9	〃
〃	宮崎県宮崎海洋高校	専・本科	航海	21	〃
〃	〃	〃	機関	16	〃
〃	〃	〃	事務	5	〃
〃	鹿児島県鹿児島水産高校	本科	航海	6	〃
〃	〃	〃	機関	3	〃
〃	〃	専攻科	航海	2	〃
〃	〃	〃	機関	3	〃
〃	沖縄県沖縄水産高校	専・本科	航海	5	〃
〃	〃	〃	機関	5	〃
〃	〃	〃	他	5	〃
近畿	京都府海洋高校	本科	航海	7	H27.7.3
中部	静岡県焼津水産高校	本科	機関	1	H27.7.23
関東	東京都大島海洋国際高校	本科	航海	3	H27.8.19
〃	神奈川県海洋科学高校	専攻科	航海	10	〃
〃	〃	〃	機関	3	〃
〃	千葉県館山総合高校	専攻科	航海	2	〃
〃	〃	〃	機関	1	〃
〃	茨城県海洋高校	本科	航海	4	〃
〃	〃	専攻科	機関	4	〃
〃	〃	〃	航海	4	〃
九州	沖縄県宮古総合専業高校	本科	航海	3	H27.9.25
近畿	兵庫県香住高校	本科	航海	1	H27.10.22
計 25校			計 231名		

平成27年度
船員問題検討対策委員会
委員名簿

(13名、順不同)

委員長	内藤 吉起	邦洋海運(株) 代表取締役社長
副委員長	高橋 洋一	昭和日タンマリタイム(株) 代表取締役社長
委員	戎谷 正志	旭タンカー(株) 人事部長
〃	佐藤 典彦	上野トランステック(株) 常務執行役員
〃	栗田 克己	田渕海運(株) 取締役常務執行役員
〃	木下 一也	鶴見サンマリン(株) 船舶安全本部船舶グループ副部長
〃	嶋村 賢治	浪速タンカー(株) 取締役船員部長
〃	松浦 一夫	幸福船舶(株) 代表取締役
〃	北 雅之	日新海運(株) 取締役海務部長
〃	三谷 秀明	三谷海運(株)代表取締役
〃	阿部 和久	(株)霧島海運商会 代表取締役常務
〃	庭瀬 秀男	明神海運(株) 代表取締役
〃	松波 道男	(株)辰巳商会 海運部課長

以上